

2021 年度 事業報告書

2022 年 3 月 31 日

NPO 法人市民後見いきいき Net 所沢

1 事業の成果

『成年後見制度等に関する普及事業』について

今年度もコロナ禍の中で感染拡大対策を意識しながらもできる限り積極的に活動を行った。昨年度は集会形式の研修会はわずか 2 回だったが、今年度は 5 回実施。具体的には高齢者の終活支援向けのもの、知的障害者の放課後サービス事業所の職員の研修、所沢市の民生委員の会合、知的障害者就労支援施設の利用者の家族向け、そして入間市社会福祉協議会の市民後見養成講座の研修会の中で、と様々な重要な福祉関係の場において講師を勤めさせていただいた。必要とされる方々に届いたと感じている。また参加者がより具体的に詳細の情報を知ろうという姿勢は以前にも増していると思う。成年後見制度の利用を念頭においた姿勢だと思う。

もう一つ、昨年度に引き続き「親族後見・らしくの会」を実施しようとしたが、9 月は衆議院議員選挙投票会場になり断念、延期して企画した 1 月はコロナ感染拡大時期と重なった。残念ながら 2 度も断念せざるを得ない結果となった。しかしながら非常に多くの申込みを頂いており、当法人の行っているこの親族後見を応援する活動は期待されるものになっていると実感している。毎年続けていく所存である。

当法人内での勉強会としては、今年度は、「被後見人等の意思決定支援」、「成年後見人等の実務面での注意点」、そして「任意後見契約」をテーマに実施した。

『成年後見人等の受任に関する事業』について

コロナ禍で今年度も受任活動は大幅に制約を受けた。高齢者施設で直接の面談が難しいジレンマは昨年度と変わらない。しかし、個別相談は今年度も増え、26 件の相談があった（同昨年度 22 件）。内訳は、15 件は高齢者から相続や遺言書作成などの相談、他 10 件が知的障害者の成年後見をいつから使うのが良いかの相談が多い。未成年の知的障害者に対して親が行う任意後見契約の相談もいくつか見うけられた。

被後見人等の見守りでは、法定後見受任において、被後見人の死亡により 1 件終了したが、新規に 1 件受任して計 5 件、任意後見契約は新たに 1 件増え計 4 件、「あんしん見守りサービス」は 3 月末時点の数字で計 5 件だった。このあんしん見守りサービスは期間中に終了する案件、新規に契約する案件とが交錯し変化が多かった。その他では今年度内に死後事務契約を結んだ方の死後事務を行った。

法定後見の候補者としての相談も増えてきている。知的障害者の 8050 問題などは出来る限り取り組んでいく。

2 事業の実施に関する事項（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲 人数		支出額 (千円)
成年後見制度等に関する普及事業	講習会の実施	7月28日	生涯学習推進センター	1名	一般市民	12名	54
		9月3日	ねっこぼっこの家	2名	通所施設職員	10名	
		10月8日	所沢市 松井公民館	1名	松井民生委員	25名	
		11月13日	皆成会 はあもにい	2名	障害者の家族	20名	
		11月24日	入間市社会福祉協議会	2名	後見養成講座	9名	
成年後見人等の受任に関する事業	成年後見制度に関する相談	年度中	入間地域 1件 所沢地域 26件 狭山地域 1件	6名	一般	26名	670
	成年後見等の受任	年度中	所沢地域 2件	4名	・法定後見 1 ・任意後見 1	2名	
	被後見人等の見守り	年度中	所沢地域 4件 狭山地域 1件	10名	被後見人 4名 被保佐人 1名	5名	
	あんしん見守り契約	年度中	入間地域 2件 所沢地域 10件	24名	・任意後見委任契約 ・高齢者	12名	